

WHO ファクトシート

道路交通傷害

Road traffic injuries

2018 年 1 月

重要な事実

- ・毎年約 125 万人以上の人々が、交通事故によって死亡している。
- ・交通事故による傷害は、15～29 歳の若年層では最大の死亡原因である。
- ・世界における道路上における死亡の 90%は、その車両保有台数が世界の約 54%程であるにもかかわらず、低及び中所得国で発生している。
- ・道路で死亡する半数近くは「道路弱者」、すなわち歩行者、自転車利用者、オートバイ利用者である。
- ・道路交通事故は、多くの国ではその国内総生産の 3%の費用負担となる。
- ・対策を続けなければ、2030 年までに道路交通事故は死亡原因の第 7 位になるものと見込まれる。
- ・持続可能な開発へ向けての 2030 年アジェンダでは、2020 年までに世界の道路交通事故による死傷者数を半減させるという意欲的な目標を設定している。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Road traffic injuries ファクトシート原文は [こちら](#)